

C 診査方法 (図 6-8)

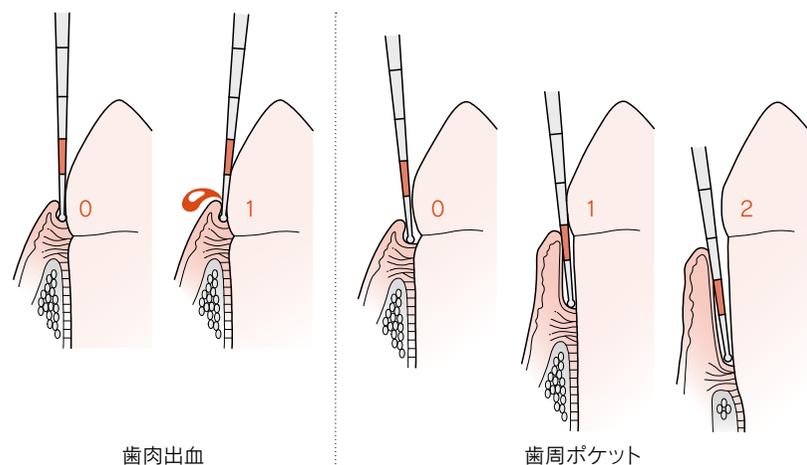


図 6-8 ▶ WHO プロブによる測定基準 (WHO, 2013)

D 口腔清掃状態に関する指標

口腔内の清掃状態を軟性付着物・歯垢 (プラーク) および歯石の沈着の程度について、両者または歯垢か歯石のいずれかに分けて診査し、数量化するものである。いろいろな方法がそれぞれの目的によって考案されている。

I OHI

歯垢と歯石を同時に組み込んだ評価法である。

a 診査基準および点数 (表 6-10, 6-11, 図 6-9, 6-10)

b 診査部位

① $\frac{7 \text{ --- } 4 \mid 3 \text{ --- } 3 \mid 4 \text{ --- } 7}{7 \text{ --- } 4 \mid 3 \text{ --- } 3 \mid 4 \text{ --- } 7}$

上下顎を 6 分画し、頬・唇側と舌側について診査する。

② 各区分の最高値を代表とする。

表 6-10 ▶ DI の診査基準と点数

点数	診査基準
0	付着が認められない
1	歯冠 1/3 以内または範囲に関係なく外来性沈着物の存在
2	歯冠 1/3~2/3 以内
3	歯冠 2/3 以上

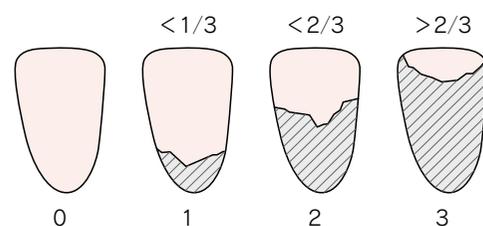


図 6-9 ▶ 歯垢 (デブリー)

OHI
Oral Hygiene Index
Green (グリーン) &
Vermillion (ファーマリオン), 1960

歯垢
debris

歯石
calculus

DI
Debris Index
歯垢指数

表 6-11 ▶ CI の診査基準と点数

点数	診査基準
0	付着が認められない
1	歯肉縁上歯石が歯面 1/3 以内
2	歯肉縁上歯石が歯面 1/3 以上 2/3 以内または点状の歯肉縁下歯石
3	歯肉縁上歯石が歯面 2/3 以上または帯状の歯肉縁下歯石

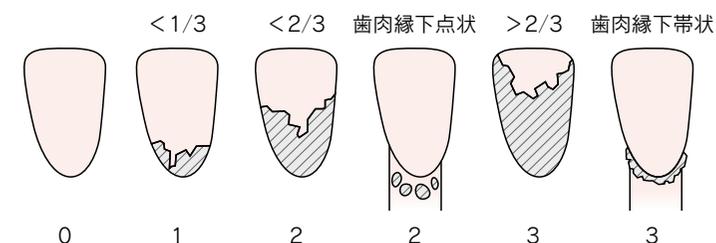


図 6-10 ▶ 歯石

CI
Calculus Index
歯石指数

C 評価方法 (表 6-12, 6-13)

• $DI = \frac{\text{総点数 (頬・唇・舌側)}}{\text{被検区分数 (通常 6)}}$ 最高値 6, 最低値 0

• $CI = \frac{\text{総点数 (頬・唇・舌側)}}{\text{被検区分数 (通常 6)}}$ 最高値 6, 最低値 0

• $OHI = DI + CI$ 最高値 12, 最低値 0

表 6-12 ▶ 診査用紙

	歯垢 (debris)				歯石 (calculus)			
	右臼歯部	前歯部	左臼歯部	計	右臼歯部	前歯部	左臼歯部	計
上 顎	頬側				頬側			
	舌側				舌側			
下 顎								
計								

表 6-13 ▶ 記載例

	歯垢 (debris)				歯石 (calculus)			
	右臼歯部	前歯部	左臼歯部	計	右臼歯部	前歯部	左臼歯部	計
上 顎	2	1	1	4	1	0	0	1
	2	1	1	4	1	2	1	4
下 顎	2	1	2	5	0	0	1	1
	2	2	1	5	1	2	1	4
計				9				2
				9				8

$DI = \frac{18}{6} = 3.0$ $CI = \frac{10}{6} = 1.67$ $OHI = (DI) 3.0 + (CI) 1.67 = 4.67 \approx 4.7$